

であると反対しているのですが、納税をされる利用者の方々に認識して頂き反対して頂くようお願い致します。

旅館を利用される時のポイントは、予約時点でできるだけ詳しく人数、男女の内訳、その時の宿泊目的、到着予定、等を伝えて下さい。受入れ側はそれに合わせて準備を致します。家族旅行と会社の慰安旅行ではサービスのポイントが違います。ただし時には到着時の受付で偽名を使った方がよいことも利用者、受け手お互いの為になることもあります。

貴重な時間を頂戴しましてありがとうございました。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

10月1日例会： 職業奉仕月間 職業奉仕委員

10月8日例会： ライラ研修発表 ライラ委員会

10月15日例会： 米山月間 米山奨学委員会

10月22日例会： 夜例会 親睦委員会

10月29日例会： クラブフォーラム地区大会報告

11月5日例会： 夜例会 ロータリー財団月間

11月12日例会： クラブアッセンブリー「分区代理を迎えて」

11月19日例会： ガバナー公式訪問



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を
行動力と先見の眼で

例 会 日
1996. 9 . 24
累 計 No 481
当 年 No 12

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会 長／堀 川 正 幸

幹 事／佐 藤 義 英

S A A／長谷川 恵 慈

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事： 卓話「旅館の話」大竹保男会員

出 席： 本日の出席 56名中37名

先々週の出席率 56名中50名 89.29%（前年同期94.55%）

先週のメークアップ： 9月9日 東京築地RCへ 吉川吉彦さん

11日 日本橋西RCへ 吉川吉彦さん

18日 三条RCへ 山上茂夫さん、樋口金占さん

19日 巻RCへ 加藤 実さん

20日 吉田RCへ 加藤 実さん、羽賀一夫さん

21日 会員増強セミナー（湯沢）堀川正幸さん、長谷川博一さん

ビ ジ タ ー： 三条RCより 高橋政志さん、藤田紘一さん、鈴木宗資さん、古沢富雄さん
渋谷健一さん

会 長 挨 拶： 堀川正幸

ご挨拶を申し上げます。

台風一過秋晴の大変さわやかなお天気になりました、色々な所で沢山の被害が出ているようですが、大変お気の毒でございます。

話は変わりますが、先日長谷川増強委員長さんと会員増強セミナーに出てまいりました。

重田パストガバナーのお話では、日本ではロータリーの会員数はほぼ横バイですが、世界的には約2万1千人ほど減少しているそうです、不景気のせいもあるのではないかとのお話でしたが、ここに各クラブの現在の会員数の表や世界の会員数の増減を解りやすいグラフに表わしたものがあります、又年度変わりの時に大幅に退会者が出るそうですが、そのグラフもお返しします。

詳しくは増強委員長さんより報告していただきますが、重田パストガバナーは、減り始めるとどんどん減ってしまうのではないかと、会員を増やすにはまず減らさない事とさらに増やす方法を考えてほしいとの事でした。会長挨拶を終ります。

幹事報告：佐藤幹事

- ・「ロータリーの友」英語版を2口購入しました。11月頃届く予定です。
- ・吉田昭平ガバナー、クラブ奉仕大委員長、オン・ツー・グラスゴー委員長より
オン・ツー・グラスゴー、クラブ内推進委員の登録のお願い
- ・2560地区幹事より 地区大会信任状証明書送付について
- ・吉田昭平ガバナー事務所より 1996～97年度公式訪問に関する件
- ・米山記念奨学会より 事業報告書送付の件
- ・分水RCより 10月例会案内 6日（日）吉田RC10周年の為8日は休会
15日（火）は夜例会記帳受付
- ・吉田RC10周年出席者10名の確認
- ・9/21（土）三条青年会議所創立30周年に出席してまいりました。

ニコニコボックス： 24日現在累計 250,000円

大竹保男君 今回はじめての卓話、皆さまのお耳をけがさせていただきます。手こぎの舟が出ないように頑張ります。

佐藤啓策君 大竹さんの卓話を楽ししく聞かせて頂きます。

本間建雄美君 旅の話大竹さん楽しみにしています。

堀川正幸君 台風一過すばらしい秋晴れのお天気になりました。皆様の気分も上々でしょうか？

西村護君 先日の嵐溪荘での夜例会大変お世話になりました。今日の卓話を楽しみにしております。

米山忠俊君 大竹さん卓話ありがとうございます。

地区会員増強セミナー報告：委員長 長谷川博一

湯沢のナスパニューオータニ於 '96年9月21日

出席者 会長堀川正幸 増強委員長 長谷川博一

④国際ロータリーの会員数について

世界的には最近減少傾向になった。

92年7月で26,000人増、93年7月で20,000人増、94年7月で17,000人増であったが、95年7月で21,000人減少した。

日本では微増。2560地区でもほとんどのびていない。2560地区での最近4年間を見ると増えていくクラブが40ヶ所。同数が4ヶ所。減っているクラブが50ヶ所である。人数では142人の増。

⑤2560地区については会員の増加した分の30%から、多い時には50%の人数が退会している。

'94～'95大島年度は増が102名、退会者が63名。

'95～'96重田年度は増が218名、退会者が118名。

⑥退会者を防止することは、ロータリーを楽しむことにある。特に例会を工夫することが大切とのこと。

⑦会員を増強するためのひとつの工夫として、あるクラブでなされていたことのひとつに「5人組」という報告がありました。

会員増強のために5人一組のプロジェクトチームを各会の中にいくつかつくり、そのひとつのチームより1名を推薦する。

⑧女性会員については時代の流れもあり、考えてゆく時ではないか。

卓話：「旅館の話」大竹保男さん



「旅」というテーマで卓話の題を頂きました。「旅」という言葉のイメージは人それぞれ、時代により大きく異なり範囲が非常に広がります。私の「旅」という言葉で頭にうかぶイメージは、数万年の単位で昔にさかのぼれば人々は狩猟採集を生活の糧として毎日が旅の生活。2～3百年前ならば、旅立ちには家族と水盃を交わし、かなりのリスクを背負いながら庶民は一生に一度のお伊勢参り文人墨客は各地の有力者の家を泊りつないでの取材の旅。現在では自動車、飛行機、船を利用して年に何回も気軽に外国までも出かける観光旅行。ほかに仕事での出張や新婚旅行、家族旅行などなどです。いずれも宿泊を伴いますが、その宿泊を受け入れる側の「旅館」について話をさせていただきます。

現在日本には宿泊を受け入れる施設として昔からの宿泊型式の「日本旅館」と西洋から入った型式の「ホテル」の、大きく分けて2つの種類があります。宿泊を伴うという点では共通していますが細かい点ではかなりの違いがあります。例えば宿泊料金は日本旅館は1泊2食付きで〇〇円、ホテルは部屋売りがたてまえて食事代は別清算になります。平成7年12月末現在全国の旅館軒数71,556軒で、客室数1,002,652室、ホテル軒数7,174軒、客室数537,401室。新潟県では旅館3,693軒、42,413室、ホテル218軒、13,979室となっております。旅館は昭和55年をピークに減り続けており、ホテルは増え続けております。特に都市旅館の減少が著しく三条も例外ではありません。時代の変化とともに宿泊形態が変化している現れだと思います。

ここで利用者の皆さんにぜひ認識して頂きたい税金があります。特別地方消費税という名前の県税です。国としての間接税である消費税は平成元年に施行されましたが、当時大変な問題として国中が湧いたことは記憶に新しいところです。特別地方消費税は県の間接税として戦時中からありました。当時は戦費調達目的で贅沢な飲食をすることに課税するために出来た法律だそうです。遊興飲食税→料理飲食等消費税→特別地方消費税と名前を変えながら現在もしっかりと残っております。納税される利用者の方々がほとんど知らないで納めているのが実情です。我々業者は二重課税